

背景	—— [松方財政] —— 1881年～松方財政(デフレ政策を推進) ①寄生地主の成長→資金を株式に投資 ②貧農の窮乏化→安価な労働力を提供 ③銀本位制の確立(1886)→紙幣価値・物価が安定し、銀行の金利が低下 ↓ 1886年 企業勃興(会社設立ブーム) → 中心=紡績・鉄道業 1890年 最初の恐慌(企業勃興の反動) ↓ ＜日清戦争後に金本位制へ移行(1897)＞ ①日露戦争に備えた軍備拡張のため 欧米から軍需品など外貨を輸入 ②銀の下落(銀安)=円安・ドル高(輸入不利)	—— [日清戦争後] —— 1897年 貨幣法制定(松方正義②内閣) → 金本位制を確立 日清戦争の賠償金が元手 1円金貨=金0.75gを含む 1ドル金貨=金1.5gを含む 1900年 資本主義恐慌(好景気の反動) 政府が設立した各産業への資金供給銀行 —— [特殊銀行] —— 横浜正金銀行(1880) (貿易金融銀行) 1880年に設立→1887年に特殊銀行となる 日本勧業銀行(1897) (農工業金融銀行) 日本興業銀行(1902) (産業資本金融銀行) 農工銀行(1898) (各府県に設立) その他の特殊銀行…台湾銀行・朝鮮銀行	—— [日露戦争後] —— 1904年 日露戦争(戦費は17億円) 外債(7億)・内債(6億)で負担 ↓ 1907年 明治40年の恐慌 ↓ 日露戦争後の反動恐慌 1908年 戊申詔書(節約と勤勉を説く) ↓ 1909年 地方改良運動(内務省中心) 持株会社を中心に系列企業を一族で経営(もと政商が多い) —— [財閥(持株会社)が中心] —— 三井(三井合名会社) ★江戸時代の両替商 三菱(三菱合資会社) ★岩崎弥太郎が創始 住友(住友総本店) ★伊予別子銅山を経営 安田(安田保善社) ★太政官札の買取で巨利																																							
	第一次産業革命(日清戦争前後=軽工業中心)	第二次産業革命(日露戦争前後=重工業中心)	財閥の多角的経営(コンツェルン型)																																							
	製糸業	①原料=国産の繭(農村の養蚕業を基盤) ②輸出先=アメリカ ③製糸技術 座繰製糸(在来の技術) → 器械製糸(フランスの輸入機械を日本型に改良) 人力 機械	1894年 座繰製糸生産量 < 器械製糸生産量 → 1909年 生糸輸出量世界第1位(中国を抜く) → 外貨の獲得に貢献大																																							
	紡績業	①原料=輸入綿花(中国産→インド産) → 日本郵船会社がインドへのボンベイ航路を開設(1893) ②輸出先=中国・朝鮮 ③紡績技術(P60へ) 手紡 → ガラ紡 → ミュール紡績機 → リング紡績機 人力 (伊藤長政が発明) (イギリス製機械紡績) (アメリカ製機械紡績) —— [大阪紡績会社] —— ①渋沢栄一が1882年に設立し、1883年に操業 ②英国のミュール紡績機を採用(動力は蒸気力) → 1万錘規模の紡績工場(従来は2000錘) ③昼夜二交代制の24時間操業(深夜業の採用) ④のち三重紡績と合併→東洋紡績会社(1914) —— [政府の奨励策] —— 綿糸輸出関税撤廃(1894) 綿花輸入関税撤廃(1896)	輸出品 1885年 <table><tr><th>品名</th><th>金額(万円)</th></tr><tr><td>生糸</td><td>35.12</td></tr><tr><td>絹織物</td><td>18.06</td></tr><tr><td>絹糸</td><td>18.2</td></tr><tr><td>その他</td><td>37.1</td></tr></table> 輸入品 1885年 <table><tr><th>品名</th><th>金額(万円)</th></tr><tr><td>生糸</td><td>29.12</td></tr><tr><td>絹織物</td><td>18.3</td></tr><tr><td>絹糸</td><td>18.3</td></tr><tr><td>その他</td><td>42.9</td></tr></table> 輸出品 1899年 <table><tr><th>品名</th><th>金額(万円)</th></tr><tr><td>生糸</td><td>29.12</td></tr><tr><td>絹織物</td><td>18.3</td></tr><tr><td>絹糸</td><td>18.3</td></tr><tr><td>その他</td><td>42.9</td></tr></table> 輸入品 1899年 <table><tr><th>品名</th><th>金額(万円)</th></tr><tr><td>生糸</td><td>29.12</td></tr><tr><td>絹織物</td><td>18.3</td></tr><tr><td>絹糸</td><td>18.3</td></tr><tr><td>その他</td><td>42.9</td></tr></table> ※砂糖輸入の大半は台湾 ＜植民地貿易＞ 台湾・朝鮮から米などを移入(輸入) 台湾・朝鮮には綿糸・綿布を移出(輸出)	品名	金額(万円)	生糸	35.12	絹織物	18.06	絹糸	18.2	その他	37.1	品名	金額(万円)	生糸	29.12	絹織物	18.3	絹糸	18.3	その他	42.9	品名	金額(万円)	生糸	29.12	絹織物	18.3	絹糸	18.3	その他	42.9	品名	金額(万円)	生糸	29.12	絹織物	18.3	絹糸	18.3	その他
品名	金額(万円)																																									
生糸	35.12																																									
絹織物	18.06																																									
絹糸	18.2																																									
その他	37.1																																									
品名	金額(万円)																																									
生糸	29.12																																									
絹織物	18.3																																									
絹糸	18.3																																									
その他	42.9																																									
品名	金額(万円)																																									
生糸	29.12																																									
絹織物	18.3																																									
絹糸	18.3																																									
その他	42.9																																									
品名	金額(万円)																																									
生糸	29.12																																									
絹織物	18.3																																									
絹糸	18.3																																									
その他	42.9																																									
綿織物業	1885年 綿布輸入量 < 綿布生産量 手織機(飛び杼を取り入れて改良) 人力 ジョンニケイ(英)が発明	→ 国産力織機(豊田佐吉が発明)	1909年 綿布輸入量 < 綿布輸出量																																							
鉄道業	1881年 日本鉄道会社(上野～青森間) 華族が出資した最初の民営私鉄会社 1889年 東海道線全通(東京～神戸間) 1889年 官営の営業キロ数 < 民営の営業キロ数	→ 金庫公債証書(1876)が資金 → 5年後に換金できるので	1906年 鉄道国有法(西園寺公望①) ↓ 私鉄17社を買収→90%を国有化 日露戦争後、戦時に際しての物資輸送をスムーズにするため制定																																							
鉄鋼業・機械工業	1901年 八幡製鉄所(官営) 技術=ドイツに依存 原料=清の大冶鉄山(鉄鉱石) 福岡の筑豊炭田(石炭) 満州の撫順炭田(石炭)	1907年 日本製鋼所(民営) 三井とイギリス会社が提携して 宝鋼に設立された兵器製造会社	1906年 池貝鉄工所(民営) アメリカ式旋盤の完全製作に成功 物を削るための工作機械																																							

〇〇金属(株) 出資者の購入する株によって運営 株を買収・独占

〇〇化学(株) 出資者の購入する株によって運営 株を買収・独占

例. 三井合名会社 = 持株会社 (財閥が経営)

物産・不動産など他の産業にも進出して

多角的経営する形態 = コンツェルン